

WriteToMbed

使い方

はじめに



firefoxを使ってmbedの開発を行うときdownload場所の指定ができず 毎回ファイルを移動するのが面倒なので、「開く」を指定するだけで、ファイルをmbedに書きこむプログラムを作りました。

ieを使えば良いという説もあります。

原理はブラウザで「開く」を指定すると、
WriteToMbed filename
と言う形で呼び出されるので、Driveをスキャンし「MBED」という ボリュームを見つけたら、
move filename V:¥object.bin というようにファイルを移動します。mbedの*.binは予め消しておいてください。2回目以降V:¥object.binは自動的に上書きされます。

このソフトはVectorでdownloadできます。

Install



WRMsetup.exeはCreateInstallで作ったインストーラー付き実行ファイルです。インストーラーの指示に従ってインストールして下さい。
bin拡張子はWriteToMbedに関連付けられます。

使用法



普通にクリックして起動するとこの画面が出ます。
このフォームでソフトの設定をします、

mbedに書き込まれるファイル名。
転写元のファイルを消去するかどうか。
が設定可能です。

FireFox, Internet Explore等でmbed.orgからbifファイルをダウンロードするとき、このプログラムが実行されるようにセットして使用します。



FireFoxでfileをdownloadする時になったら「プログラムで開く」を選択しプログラムにはWriteToMbedを指定してから「OK」を押します。
defaultの動作ではdownloadしたfileは消え、mbedにobject.binと言う名になってmoveされます。
転送元を消すかどうか、どんなファイル名にするかは設定可能なことは既に述べました。

もうひとつの使い方として、WriteToMbedのショートカットまたは実行ファイルにbin fileをD&Dする方法があります。



IEの場合はフォルダーのオプションで指定した関連付けが反映されるので「開く」を選択すると即mbedにdownloadされます。本ソフトの設定は“Delete Source File”のチェックを**はず**してください。

ご連絡



ご感想、ご要望、バグレポートは下記URLのメールフォームよりお気軽にどうぞ。
<http://agri-hitech.com/mailform.php>

Copyright (c) 2011 Shigeru Makino & Agri-hitech LLC